

# モニタリング結果報告書 (令和元年度)

## 1. 施設概要

施設名	神奈川近代文学館		
所在地	横浜市中区山手町110		
サイトURL	<a href="https://www.kanabun.or.jp/">https://www.kanabun.or.jp/</a>		
根拠条例	神奈川県立神奈川近代文学館条例		
設置目的(設置時期)	近代文学に係る図書及びその著者の遺品等を収集し、整理保存し、及び展示し、並びに近代文学に係る図書を閲覧に供するとともに、併せて県民に文化活動の場を提供するため。 (昭和59年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川文学振興会		
指定期間	H28.4.1 ~ R3.3.31 (2016年) (2021年)	施設所管課 (事務所)	文化課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>令和元年度の年間展示入館者数は45,949人となり、6年連続で4万人を超え、好調を維持できた。利用者満足度も高く、収支状況も良好だったため、3項目評価はA評価となった。若年層向けのキャンペーンを春秋に開催したことや、展示やイベントの工夫が入場者増につながった。今後もさらに多様な分野の展示や集客力のあるイベントを実施し、近代文学及び近代文学館への興味を喚起できる取組の充実を期待する。</p>	
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆管理運営等の状況 年間の展示室入館者数は6年連続で4万人台を記録し、これまでの好調を維持した。9月から開催した特別展「中島敦展」では、コミックス等とのコラボレーションにより若年層の来館が増え、10,525人が来場した。</li><li>◆利用状況 展示室・閲覧室・会議室の利用者数は、目標の66,500人を上回る73,007人となり、目標達成率は109.8%でA評価となった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月4日から展示室・閲覧室が臨時休室となったにもかかわらず、前年比103.7%を確保した。</li><li>◆利用者の満足度 9月～11月の特別展「中島敦展」(入場者数10,525人)の実施時期に来館者とホームページ閲覧者を対象に満足度調査を行い、上位2段階の回答割合が97.9%となったため、S評価となった。回答数は、来館者アンケートでは昨年度の356件から307件に減少したが、回答率は2.9%と同水準を維持した。Webアンケートの回答数は30件から154件と、大幅に増加した。Webアンケートについては、昨年に引き続きWebアンケート画面へのリンクを配布したことによって増加したと考えられる。今後も回答数の増に向けて取り組んでほしい。</li><li>◆収支状況 前年度と比較すると、夏に開催した「西巻茅子展」で20～65歳未満の入館者数が大きく増加し、入館料が割引となる65歳以上の入館者数が相対的に減少したため、観覧料収入が増加した。また、会議室利用料についてもホール使用回数の増加等により増加した。収支比率は100%であり、A評価となった。</li><li>◆苦情・要望等 来館者から寄せられた要望等については、近代文学館で適切に対応した。</li><li>◆事故・不祥事等 経年劣化による設備の不具合が各所で続いている旨、近代文学館から報告を受けている。</li><li>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</li><li>◆その他 令和元年度の3項目評価についてはA評価とした。</li></ul>	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

### 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月2回程度	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容

### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>・より多くの来館者を獲得するために、様々なニーズに応じた展示を企画、開催する。(集客を目指す展示、独創性のある展示、他機関との連携など、事業の広がりを意識した展示など)</p>	<p>4～5月 特別展「巨星・松本清張」入場者数 13,522人 (3/16から開催・会期合計15,471人) 5～7月 企画展「没後20年 江藤淳展」入場者数 4,947人 7～9月 企画展「『わたしのワンピース』50周年 西巻茅子展」入場者数 13,421人 9～11月 特別展「中島敦展」入場者数 10,525人 12～3月 企画展・収蔵コレクション展18「没後50年 獅子文六展」(常設展「文学の森へ 第3部」併設) 入場者数3,534人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための3月4日から臨時休館 3月 特別展「大岡昇平の世界展」※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館で未開催(R2年度秋に開催予定)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「獅子文六展」会期中の3月4日から臨時休館となったにもかかわらず、「巨星・松本清張」「西巻茅子展」「中島敦展」の好評に牽引され、年間で45,949人の展示観覧者があり、6年連続で4万人を超える好調を維持できた。「巨星・松本清張」「江藤淳展」の会期中に、横浜市観光局などとともにコミックスとコラボレーションしたスタンプラリーを実施、「中島敦展」でもコラボレーション企画を行い若年層の入場者を伸ばした。また、「西巻茅子展」ではエントランスでの工作や撮影コーナーなど様々な工夫を行い、入場者数の増加を図った。</p>
<p>・館所蔵、新収蔵資料を柱に構成した展覧会も積極的に開催する。</p>	<p>収蔵コレクション展18「没後50年 獅子文六展」では館蔵資料を活用し、作家の生涯と作品を顕彰し、好評を得ることができた。</p>	<p>近代文学館の所蔵する貴重資料を活用し、過去に各分野で一時代を築いた作家の紹介にも配慮している。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、観覧者数の最も伸びる最後の週末を残し突然会期中断、臨時休館せざるを得ない状況となったのは、残念なことであった。</p>

<p>・特別展や企画展と連携した講演会、朗読会、講座、映画会などの企画を開催し、利用者のニーズに応える。</p>	<p>4～5月  松本清張展記念講演会 2回  同 展記念朗読等 1回  同 展ギャラリートーク 6回  (会期内8回)</p> <p>5～7月  江藤淳展記念講演会 2回  同 展ギャラリートーク 3回  (高校生向け事業 1回)</p> <p>7～9月  西巻茅子展記念講演会 1回  同 展講座 1回  同 展ギャラリートーク 4回  (かなぶんキッズクラブ  &lt;映画会、紙芝居、  絵本の読み聞かせほか&gt; 4回)  (DVD上映会 1回)  (朗読コンサート 1回)</p> <p>10～11月  中島敦展記念講演会 1回  同 展講座 1回  同 展トークイベント 1回  同 展朗読とトーク 1回  同 展ギャラリートーク 8回  (「中島敦展」記念上映会 2回)  (「日本文学 あの名場面」  連載記念対談 1回)  「文字・活字文化の日」記念行事  &lt;ギャラリートーク、バックヤード見学等&gt; 1回)  (高校生向け事業 1回)</p> <p>12～3月  (子ども読書活動推進フォーラム 1回)  (かなぶん連句会 1回)  (朗読会 1回)  獅子文六展ギャラリートーク 4回  ※予定5回の内1回中止  (同 展記念イベント [中止])</p> <p>3月  大岡昇平展ギャラリートーク [中止]  (かなぶん寄席(講談会) [中止])  (かなぶんキッズクラブ  &lt;映画会・紙芝居&gt; [中止])</p>	<p>展覧会に連携した講演会、文字活字文化振興を目的とした朗読コンサート、講演会等の各種イベントを実施した。松本清張展、西巻茅子展、中島敦展の記念講演会等満員となるイベントも多く、盛況となった。満席の見込みであった獅子文六展記念イベントとかなぶん寄席講談会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(延期)となった。</p>
<p>・専門館として文学のレファレンスにきめ細かく対応する。〔参考〕レファレンス：文学に関する情報や資料の各種問合せに対し、仲介的な立場から援助するサービス。利用案内、資料提供なども含む。専門的な質問も多く、公共図書館等他施設からの照会もある。</p>	<p>レファレンス件数 215件</p>	<p>利用者からの様々な問合せに対応し、専門的施設としての役割を果たした。</p>

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等

## 5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
A	

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	75,601	70,427	73,007
対前年度比		93.2%	103.7%
目標値	65,000	66,000	66,500
目標達成率	116.3%	106.7%	109.8%

目標値の設定根拠：

経営改善目標

利用者数の算出方法（対象）：

観覧券の枚数、受付係員がカウント(展示観覧者数)+閲覧カウンター職員がカウント(閲覧室利用者数)+利用申請者が予約システムに入力した人数(会議室利用者数)

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 \_\_\_\_\_

## 6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	(1) 簡易アンケート 管理施設の窓口に常時用紙を備え、利用者に記入していただくなど、簡便な方法で随時実施するアンケート (2) 詳細アンケート アンケート用紙を利用者に一斉に送付し、回収・分析するなど、詳細な内容で定期的実施するアンケート	今秋の「中島敦展」(10,525人)は、台風19号により10月の連休に2日間も臨時休館するなど、天候不順による大きな影響を受けた。その中で昨秋の寺山修司展(12,358人)に続き2年連続で1万人超の来場者を迎えられたのは大きな成果と言える。「学生及び高校生以下」の比率が寺山展にくらべ倍増し、来館者アンケートでも50歳代以下が80.1%にのぼった。展示内容について「満足」「どちらかといえば満足」をあわせ97.1%の高い評価を得た。理由は、豊富な資料点数と分かりやすい説明、見所を設問にしたワークシートでより展示を楽しめたという回答が多かった。また中島が家族に宛てた絵葉書などに重点を置く展示をしたことで、愛情深い一面や豊かな人間関係、ユーモアを感じたという中島の人柄についての感想も多数あった。昨秋の寺山展と同様、今回も例年に比べ、Webアンケートの回答が多かった。Webアンケートへのリンクを会場で配布したことで、観覧後、館外に出てからWebアンケートに回答してくださった方が多かったと推測される。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 来館者：11. 以下の項目について、どのようにお感じになりましたか。>④全体評価  
 Web：8. 利用なさっての全体評価をお願いします。

実施した調査の配布方法 受付等に配架、HP掲載 回収数/配布数 461 / =

配布(サンプル)対象 来館者、HP利用者 ※項目未回答者あり

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	247	82	2	5	336	静かに丁寧に見られて良い /映像の説明がとても良かった /スタッフの方が親切
回答率	73.5%	24.4%	0.6%	1.5%		
前年度の回答数	159	94	3	1	257	
前年度回答率	61.9%	36.6%	1.2%	0.4%		
回答率の対前年度比	118.8%	66.7%	51.0%	382.4%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	399,566	9,024	7,204	受取利息収入 32 事業収入 6,479 立替金収入 155 雑収入 538	415,794	415,794	0	
	決算	399,566	13,581	6,851	受取利息収入 15 事業収入 6,136 立替金収入 181 雑収入 519	419,998	419,993	5	100.00%
前年度	当初予算	399,566	9,074	50,946	受取利息収入 32 事業収入 6,529 立替金収入 155 雑収入 538 退職給付引当預金 取崩収入 43,692	459,586	459,586	0	
	決算	399,566	14,024	50,993	受取利息収入 15 事業収入 5,715 立替金収入 1,274 雑収入 297 退職給付引当預金 取崩収入 43,692	464,583	464,579	4	100.00%
令和元年度	当初予算	407,222	9,209	48,044	受取利息収入 16 事業収入 6,729 立替金収入 157 雑収入 538 退職給付引当預金 取崩収入 40,604	464,475	464,475	0	
	決算	407,222	15,037	47,066	受取利息収入 15 事業収入 6,050 立替金収入 146 雑収入 251 退職給付引当預金 取崩収入 40,604	469,325	469,324	1	100.00%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	アンケート	1 件	エントランスのモニターの音声展览展示会場まで聞こえる。	会場内に聞こえないよう音量を調節。機器更新時に指向性の高いスピーカーに変更を検討した。
	アンケート	1 件	展示内容が豊富で、もう少し途中で休息エリアが欲しかった。	展示会場内のソファの数を増やし、休憩できる場所を提供した。
	アンケート	2 件	順路を分かりやすくして欲しい。	案内掲示等を増やした。
職員対応	アンケート	3 件	観覧者の私語を注意して欲しい。	警備員巡回に加え、受付交代時に巡回を実施するとともに、職員も随時見廻りを行った。
事業内容	アンケート	1 件	展示会場でのワークシートは理解を深めるのに役立つと思うが、夢中になりすぎて他の方への配慮がなくなる参加者が見られる。	ワークシート参加者に向け会場で静粛にするよう注意書きを追加した。
	アンケート	1 件	写真撮影をしたい。	西巻茅子展では展示室入口に記念撮影用スポットを設置。中島敦展では、コラボレーション企画に関連してエントランスに撮影可のエリアを設けた。
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
2019/9/26	①本館電動書架が9月26日（一時復旧）、10月16日に故障。 ②業務月報にて確認。 ③応急処置として2月～3月に不具合ブロックの基板等を交換し復旧。電気部品の経年劣化が進んでいるため、全体的な制御システムの更新工事を順次進行できるように調整。 ④無 ⑤経年劣化 費用負担有（令和2年2月末～3月に1ブロック×2回、修繕工事を実施した。2月末に1回目の工事を行ったが新たな部位の不具合が見つかったため、3月に追加の工事を行った。総額は約173万円だが、1回毎の工事金額が100万円を下回っていたことから、負担者は指定管理者） ⑥無
2020/3/14	①3月14日、空調自動制御の中央監視装置1台が故障。 ②3月15日、メールにて確認。 ③計画修繕工事として早期に更新工事ができるよう施設整備課に依頼。 ④無 ⑤経年劣化 費用負担無 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	なし	
職員の配置体制	なし	
労働時間	なし	
職場環境	なし	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。